

2023年8月29日

各 位

住信SBIネット銀行株式会社

**住信 SBI ネット銀行、邦銀初
AWSマルチリージョン化による顧客サービス提供の継続性を向上**

住信 SBI ネット銀行株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長(GEO):円山 法昭、以下「住信 SBI ネット銀行」という)は、お客さまへのサービス提供に対しさらなる継続性の向上を実現するため、邦銀で初めて*1アマゾン ウェブ サービス(以下、AWS)のアジアパシフィック(東京)リージョン(以下、東京リージョン)およびアジアパシフィック(大阪)リージョン(以下、大阪リージョン)を活用したマルチリージョンによる冗長化を実施、インターネットバンキングシステムの可用性の向上を実現いたしました。

*1 当社国内 AWS 事例調査において、同様の事例発表は確認されておりません。(2023 年 8 月 28 日時点)

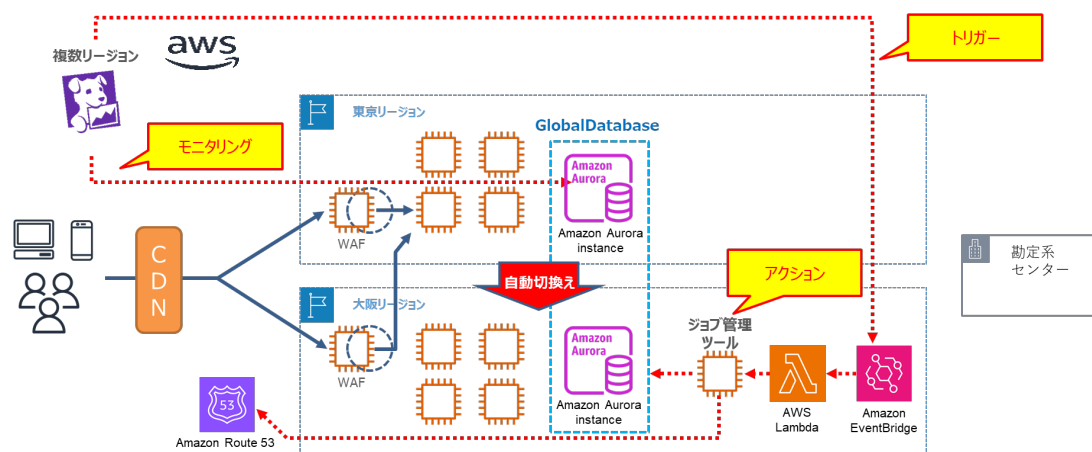


近年、企業を取り巻く環境はより複雑化しており、さまざまな事象が発生した際に深刻な被害となるリスクが高まっています。こうした状況において、住信 SBI ネット銀行ではAWSのクラウド環境を活用した最先端のアーキテクチャーを構築し、常に最新のシステムにアップデートすることにより、リスクへの対応を強化してまいりました。このたび当社の高い技術力とAWSの提供する最新技術により、データの完全性を確保したまま東京リージョンと大阪リージョン間のマルチリージョン化を行い、システムを障害で停止させることなく稼働し続けられる能力を高める取組を行いました。これにより、リージョン間でスピーディにインターネットバンキングを提供する環境を切替えることが可能となり、お客さまに対し、セキュアで安定したサービス提供の継続性向上が見込まれます。

今回のマルチリージョン化では、バックアップデータの目標復旧時点(RPO: Recovery Point Objective)を0秒として実現。メインサイトの東京リージョンで提供しているサービスに障害や停止

を検知すると、Amazon EventBridge*²や AWS Lambda*³を用いたアクションの自動化で、確実に迅速な切替を行います。Amazon Aurora Global Database*⁴により、データの完全性を確保しつつ、大阪リージョンのシステムが稼働し、インターネットバンキングサービスの提供が行われます。

インターネットバンキングのマルチリージョン化



出所: 住信 SBI ネット銀行株式会社

*² [Amazon EventBridge](#) *³ [AWS Lambda](#) *⁴ [Amazon Aurora Global Database](#)

住信 SBI ネット銀行は、お客さま中心主義のもと最先端のテクノロジーを活用することで金融サービスを変革し、社会をより快適で便利なものに変えていくことを目指してまいります。

■住信 SBI ネット銀行株式会社

常務執行役員 木村 紀義 より

「住信 SBI ネット銀行は、お客さま中心主義のもと、最先端のテクノロジーを活用することで、常にお客さまの利便性と安全性、サービスの継続性向上に取り組んでおります。このたび、クラウド技術において圧倒的な先進性を有するアマゾンウェブサービスを活用し、最先端のアーキテクチャーを活用したマルチリージョン化によるバックアップ機能強化により、さらなる業務継続性および安全性の確保を実現いたしました。

今後も、テクノロジーと公正の精神で豊かさが循環する社会の実現を目指してまいります。」

■アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 執行役員 エンタープライズ事業統括本部

金融事業 / ストラテジックアカウント / 西日本事業本部 統括本部長

鶴田 規久 氏 より

「AWS ジャパンは、住信 SBI ネット銀行が AWS の東京および大阪リージョンを活用したインターネットバンキングの可用性向上に向けた取り組みを歓迎します。AWS ジャパンは、金融機関のお

客さまが多様化する顧客のニーズを理解し、より高いレベルのサービス提供を通じてビジネスの変革を推進する支援を行っています。住信 SBI ネット銀行はこれまでも AWS を活用してインターネットバンキングをはじめ様々なサービスを開発し、顧客に提供してきましたが、今後さらに最新のクラウドテクノロジーやクラウドネイティブなサービスの活用を進め、安定した顧客サービスの向上を実現されることを期待しております。」

以上

本プレスリリースに関するお問合せ先:住信 SBI ネット銀行 広報・IR 部 03-6779-5495